

2022年 「新港の森 四季の観察会」 第1回

1. 目的
パワーに
樹木全体
ことを
- 新港の森を、四季を通じて観察し、樹木の名前を覚えるだけでなく樹木について学び、人と樹木、生活と樹木のかかわり、生態系における役割などの理解を深める。
新港の森は人の手によってつくられた公園、樹木も人が植えたものという
踏まえてここならではの話題を解説する。

2. 日時 2022年4月23日(土) 曇り
場所 新港の森 スポーツ広場周辺
3. 参加者 26名
4. 講師 樹木医 佐伯 肇
5. 開催者・事務局 新港の森管理事務所 筒井所長



6. テーマ 「お花とデート」

7. 本日のお題

- 樹木はコロナ対策をしている？
- ソメイヨシノに実がなる？
- 「遠山の金さん」のサクラ ほか
- 本日のオチ・・・
- ある樹木からの伝言



【プロローグ】

誰しもデートするためには「相手をよく知る」必要があります。どんな食べ物が好きとか、

興味や趣味など知っておいた方が上手くいきますよね。

お花とデートする場合も同じです。今年の冬は雪が多く木々の枝折れも多く発生してましたが、

公園内には沢山のお花が元気に咲いています。よく調べて理想の相手を見つけましょう！

●樹木はコロナ対策をしている？

この観察会も2018年4月から始まり、まる4年経ちました。20回企画し内2回は

新型コロナのため中止でした。

さて、コロナ対策と云えば主に次の3つかと思います。

- ① 外出の自粛
- ② マスクの着用
- ③ 三密を避ける

これを樹木に当てはめてみましょう。

①外出の自粛：ウロウロ外を動き回らないこと→樹木は根を張って同じ場所で過ごします。

②マスクの着用：飛沫を飛ばさないこと→樹木はそもそも口で話しません。

③三密を避ける：過密にならないこと→過密な状態では日光が無く樹木は育ちません。

(葉っぱが触れ合えば、エチレングスの効果で重ならないように伸びます)

★樹木たちは既に身を守る方策を身に着けてます。私たちも樹木から学びましょう。

●ソメイヨシノに実がなる？

ソメイヨシノの親は「オオシマザクラ」と「エドヒガン」です。両方の遺伝子を次の様に

受け継いでいます。

・オオシマザクラからは「花付きの良さ。生長の良さ。塩害に強いなど」が受け継がれ。

メ モ：桜餅の葉っぱはオオシマザクラです

あの良い香りの成分はクマリンで、害虫は嫌がるらしい。

・エドヒガンからは「花が先に咲き、葉っぱが後から出てくる。花に微毛が生えるなど」が

受け継がれています。

ソメイヨシノの特徴として、受粉してもタネは殆ど出来ません。実が成らないのです。

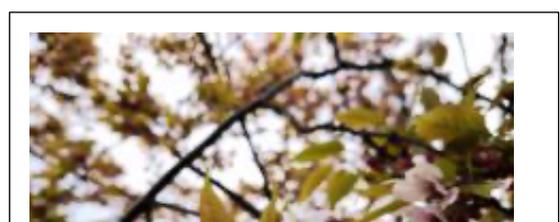
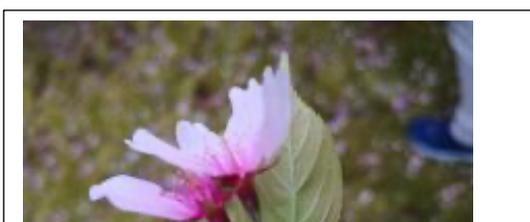
では、どうして全国各地にこんなに沢山のソメイヨシノがあるのでしょうか？

実はソメイヨシノは最初のたった1本の木から接ぎ木などで増やされたのです。いわゆる

「クローン」なのです。クローンなので（遺伝的に同じ）開花も一斉に咲いたりするのです。

結論：ソメイヨシノは実が成ることはゼロに近い。多品種と交配して実を成らせることは

ありますが、そのタネは遺伝的に違いますのでソメイヨシノではありません。



●「遠山の金さん」のサクラ

遠山の金さんといえば背中「桜吹雪」。江戸時代の名奉行のイメージですね。

では、その背中「桜吹雪」のサクラの品種は何でしょう？

「ソメイヨシノ」じゃないの、って思った方は“よく考えて”ください！ソメイヨシノが誕生

したのは江戸末期から明治にかけてです。つまり、遠山の金さんの時代にはソメイヨシノは

まだ有りませんでした。おそらく日本古来からある「ヤマザクラ」ではないかと思われま

す。桜を見るときは、こんな時代背景も考え思いを巡らすことも楽しみの一つでしょうか。

メ モ：「遠山桜」と呼ばれてるサクラがあります。金さんの故郷、岐阜県明智町には桜並木

があり、この辺りの遠山谷で咲く桜はすべて「遠山桜」と地元では呼んでるそうです。

●花は人の片思い

公園や道ばたに咲く花を見て、うっとりとその美しさに心うたれることはありませんか？

しかし、植物が花を咲かせるのは人間に見てもらうためではありません。昆虫を呼び寄せて花粉を運んでもらうためです。

また、私たちが見る花の色は、昆虫たちには違った色に見えています。それは昆虫には紫外線

が見えるからです。一度昆虫になって花を見たいものです、そこにはどんな世界があるの

でしょうか。

色だけではありません。甘い蜜や香りを出してあの手この手で昆虫や動物を呼び寄せているのです。

そうです、答えは「私たちの片思い」でした。



●山で木を切る「斧」に三本線や四本線が刻まれてますが、何で？

< チーコちゃんは知ってる。 >

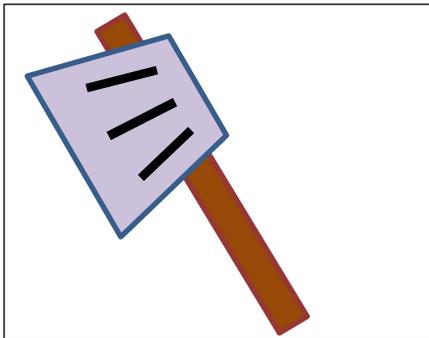
山の神様への信仰の表しだそうです。

- ・三本線はミキと云い「お神酒」の意味、神様に捧げるお酒ですね。
- ・四本線はヨキと云い「四気」のことです。四気とは「太陽・土・水・空気」のこと

で、

木を育てる気のこと。

木を伐採する前に斧を木に立てかけて、山の神様に「樹木を使わせていただきます」と感謝の意を表すのだそうです。



【エピローク】



◎ある樹木からの伝言

「おーい。そこの人間、そうお前さんのことだ・・・。」

「何でしょうか？」

「この地に鳥に運ばれ300年、わしもいよいよ伐り倒されることになったらしい。まあ、それはお前さんたち人間の都合だから仕方がないことなのだが、伐られる前にひとこと言っておきたいことがある。聞いてくれるかえ・・・。」

「聞かせてください。」

「うむ・・・。ついこの前まで、わし等の作り出す日陰や材木、落ち葉をありがたがっていたお前さんたち人間がどうして、たかだかこの70年の間に心変わりをして、わし等の仲間を次々と伐り倒していくのだ。この辺も昔はたくさんの仲間が居て、うっそうとしたものじゃったよ・・・。」

「・・・。」

「そう、100年位前に大きな地震があって、ここら辺にも急にお前さんたちの住む家が建ちはじめたが、それでもわし等とは仲良くやってきた。そして70年位前には大きな鉄の鳥の大群が来て、お前さんたちの家々を焼こうとしたときも火を防いだりして、お前さんたちとうまくやってきたつもりだ。それがどうだ、56年前位にオリンピックとかいう大運動会があったころから様子がおかしくなった・・・。」

「はい・・・。」

「それ以前は少なかった車とかいうものが急に増えてきて、それが通りやすいように、まず道

が広げられて、わしの仲間たちがどんどん伐られていったのだ。そして、それが一段落すると今度はお前さんたちの仲間が、わし等が多くて良い所だ、空気が綺麗だとかでたくさん家を建てて住み着き始めたのだ。それでまた、たくさんの仲間が居なくなった。」

「はい・・・。」

「それでも、わしらは何とかうまくやっていこうと精一杯枝を広げ、葉を茂らせ、伐られた仲間の分まで新鮮な空気を作り出し、日陰を提供してきたつもりじゃつた。ところが今度は落ち葉が汚いとか、陽が当たらないからわし等を伐りたいという。いったいぜんたいお前さんたち人間はどういう生き物なのだ・・・。」

「・・・。」

「なるほど、確かに前さんたちは万能の生き物なのかもしれない・・・。しかしわし等から見れば、動物には違いないのだ。他の動物たちと同じで、我々樹木なくして生きていくことはできないのだぞ！？それをわかっているのだろうか・・・、わしにはどうもわかってないような気がしてならん・・・。」 「この短い70年間、わしが観察するに、どうもお前さんたち人間は自分が生きている間の楽と便利のみを追い求めているように思えてならん。だから後先を考えないで目先の快・不快のみでわし等を伐る・・・。まあわし等はいいいとして、前さん方の子や孫はどうなる？他の動物たちはどうなる？わし等のいなくなった地上でそう永くは生きていけないと思うぞよ。」

気がつくとは私は大きなケヤキの前に立っていた。時間にして2～3分しかたっていなかったようだ。夢を見ていたのかもしれないし、妄想だったのかもしれないが、私は確かに木の声を聞いたのだ。私はその木に返せる言葉が何もなかったことが悔しかった・・・。」

数日後、その樹木は伐採された。

以 上
(記録 天
野元
治)